埋蔵文化財センターの活動

埋蔵文化財展・埋蔵文化財講演会

県教育委員会並びに地元教育委員会との共催により、三河(豊橋市)、尾張(清洲町)の両会場で「ひとかけらの土器に祖先のぬくもり」をテーマに「埋蔵文化財展」を開催した。また両会場共、会期中に、併せて、「埋蔵文化財講演会」を開催した。

埋蔵文化財展

	尾張地区	三河地区
会場	清洲町民センター（集会室）	豊橋市美術博物館　第４・第５展示室
会期	９月７日(日)～９月14日(日)（７日間）	８月20日(水)～８月31日(日)（11日間）
展示品（両会場共通）	１．出土品（約500点） 朝日遺跡……ヒスイ製勾玉、玉作り関連遺物など（弥生時代） 廻間遺跡……線刻文のある壺形土器など（古墳時代） 勝川遺跡……刻書のある埴輪片・勝川廃寺瓦など（古墳～平安時代） 大渕遺跡……木組みの井戸など（古墳～平安時代） 石堂野遺跡……土師器など（古墳～平安時代） 阿弥陀寺遺跡……白磁水滴など（鎌倉～室町時代） 清洲城下町遺跡……金箔瓦・天正十四年銘丸瓦など（安土・桃山時代） ２．写真パネル類（約45点）	
入場者	1168人（１日平均 167人）	2680人（１日平均 244人）
その他	入場者に解説用パンフレット（B５判８頁）を配布	

埋蔵文化財講演会

	尾張地区	三河地区
会場	清洲町民センター(ホール)	豊橋市美術博物館（講義室）
開催日	９月14日(日)	８月23日(土)
講師	名古屋大学教授　楢崎彰一氏	岡山理科大学教授　池田次郎氏
演題	「陶磁器からみた戦国時代」	「骨からみた日本人の歴史」
入場者	220人	139人



埋蔵文化財展（清洲町民センター）



埋蔵文化財講演会（清洲町民センター）

発掘調査技術等研修会

県教育委員会との共催で、市町村の埋蔵文化財担当職員を対象とした発掘調査技術等研修会を実施した。参加者は、基礎研修会が21名、専門研修会が26名であった。

基礎研修会日程

7月16日(水)	7月17日(木)	7月18日(金)
開講式	講義Ⅲ 「発掘調査に関する予算編成の実際と補助金制度の活用」 講師　文化財課　赤羽一郎	(財)埋蔵文化財センターの事業の概要説明
講義Ⅰ 「愛知県における埋蔵文化財行政の現状と課題」 講師　文化財課　遠藤才文		「朝日遺跡」発掘調査現場見学
講義Ⅱ 「埋蔵文化財関係法規と発掘調査に関する諸手続の実際」 講師　文化財課　中川真文	講義Ⅳ 「埋蔵文化財保護の現状と課題」 講師　文化庁主任文化財調査官　河原純之	出土品の基礎整理の概要説明
		出土品の保存処理の概要説明
	閉講式	保存処理関係諸施設見学

専門研修会日程

9月25日(木)	9月26日(金)
開講式	講義Ⅲ 「考古学と岩石学」 ——とくに石器の岩質と岩石分布—— 講師　諏訪兼位氏
報告 「県内における埋蔵文化財の調査と研究の動向」 報告者　文化財課　赤羽一郎	
講義Ⅰ 「古代の陶硯について」 講師　楢崎彰一氏	講義Ⅳ 「考古学者のための人骨研究法」 講師　池田次郎氏
講義Ⅱ 「出土遺物とその保存」 講師　江本義理氏	閉講式



基礎研修会（朝日遺跡見学）



専門研修会

資料の貸出・提供

センター保管資料の利用については、出土品の貸出について３件、写真等の資料の使用について４件の依頼があったが、いずれもその要望に応じた。

出土遺物の貸出

（昭和61年４月～62年３月）

貸出先	目的	貸出資料	期間
愛知県 陶磁資料館	企画展 城下町のやきもの －清洲・名古屋の出土品－	清洲城下町遺跡出土品 朝日西遺跡出土品 勝川遺跡出土品　計1303点	61年６月28日 ～ ９月28日
名古屋市博物館	愛知の新出土品展（Ⅱ）	朝日遺跡出土品 清洲城下町遺跡出土品 計 132点	61年７月２日 ～ ８月15日
安城市教育委員会 （安城市文化センター）	文化財企画展 原始・古代人の顔	勝川遺跡出土「人面付土器片」 廻間遺跡出土「線刻文壺」 計２点	61年10月５日 ～ 10月25日

写真等の資料の提供

（昭和61年４月～62年３月）

提供先	目的	提供資料	提供日
雄山閣出版株式会社	「季刊考古学」第16号掲載	廻間遺跡住居跡群写真　２点	61年６月16日
甚目寺町教育委員会	甚目寺町歴史民俗資料館の展示パネル原図	大渕遺跡住居跡実測図　１点	61年10月20日
株式会社　小学館	森　浩一編 『古代は語る －現代に生きる古代の技術－』	勝川遺跡出土刻書埴輪片 写真　１点	61年11月７日
中日新聞 一宮支局	中日新聞尾張版連載企画 「清洲城物語」掲載	文禄弐年銘碗、作業風景 現地説明会風景など 写真　４点	61年11月19日

現地説明会

昭和61年度の現地説明会は、大型方形周溝墓やヤナ遺構の出土等で注目を集めた朝日遺跡を中心に、７回にわたり実施され、参加者も、のべ2000人以上に達した。

現地説明会等開催状況

（昭和61年４月～62年３月）

遺跡（発掘区）	開催日	所在地	内容	参加者
朝日遺跡（C・D区）	61・5・31	西春日井郡清洲町	朝日遺跡南集落の住居跡・環濠・方形周溝墓等の遺構とその出土品の展示	約 120名
杉山遺跡	61・8・16	新城市杉山	杉山端城と関連すると思われる戦国時代の屋敷地とその出土品の展示	約 120名
勝川遺跡	61・9・20	春日井市勝川町	弥生時代後期の方形周溝墓、勝川廃寺の北大溝等の遺構とその出土品の展示	約 30名
朝日遺跡（O・R・S区）	61・11・8	名古屋市西区中沼町	弥生時代の大形方形周溝墓、ヤナ遺構等と鳥形木製品をはじめとする出土品の展示	約 310名
朝日遺跡（A・B区）	61・12・6	西春日井郡清洲町	朝日遺跡北集落の環濠と逆茂木状遺構等と盾状木製品をはじめとする出土品の展示	約 250名
朝日遺跡 清洲城下町遺跡	62・3・28	西春日井郡清洲町	清洲町民センターにおいて、61年度調査成果の報告会	約 350名
朝日遺跡（E～L区）	62・3・29	西春日井郡清洲町	朝日遺跡の南北両集落とその環濠、住居跡等と小型仿製鏡をはじめとする出土品の展示	約 850名



現地説明会資料（朝日遺跡）



現地説明会（朝日遺跡）